

第14回 世界遺産検定 マイスター試験 講評 および 学習方法

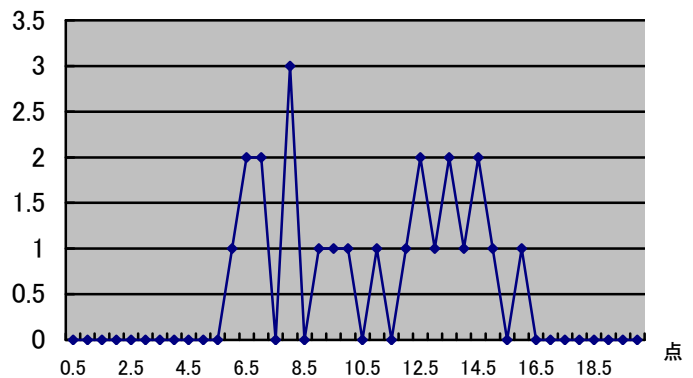
1. 実施概要 2. 認定点と分布 3. 問題 4. 総評 5. 各問の短評と学習法

1. 実施概要

検 定 日：2013年12月8日（日）
検定会場：東京・大阪
検定時間：120分
解答形式：論述形式（記述）
申込人数：25名
受検人数：23名
認定者数：12名（認定率52.2%）

2. 認定点と分布

認定点：12点（20点満点）
最高点：16点
最低点：6点
分 布：



3. 問 題

1 次の語句を簡潔に説明しなさい。
1. ヴェネツィア憲章
2. 完全性（integrity）
3. シリアル・ノミネーション

2 世界遺産条約について、次の語句をすべて使って、400字以内で説明しなさい。なお、解答中の次の語句の使用箇所には下線を引きなさい。
危機遺産 顕著な普遍的価値 世界遺産基金 教育・広報

3 近年、景観の問題から危機遺産リスト入りを論議される遺産が増えてきている。バッファゾーン外の開発まで問題視される現状に関し、「景観保護の重要性」と「景観を保護するが故の弊害」の双方について、『富士山－信仰の対象と芸術の源泉』の事例を用いつつ、他の遺産の実例と比較しながら、1,200字以内で論じなさい。

4. 総 評

1 はどの受検者も比較的良好に書けていたが、2 と 3 でずいぶん点数に差が出ていた。特に3 は、景観保護について十分に考察し自身の意見を述べている人は少なく、文字数自体が達していない人も多かった。少し難しい問題だったかもしれないが、富士山だけでなく景観の保護が課題となっている世界遺産も最近では増えてきているし、近年は話題に上がることも多い。また、こういった論述問題だけでなく、世界遺産検定マイスターになり人と世界遺産の話をするのが多くなると、自身の得意な話題ばかりというわけにはいかない。少々論じにくい話題であっても、自身の意見のある程度述べるができることが重要である。その中で、自身の意見を背伸びをせず述べている受検者は高い点につながった。

5. 各問の短評と学習法

1

短評：それぞれの語句を約 50 文字以内で説明する問題。その語句の最重要ポイントがどこにあるか見極める必要があり、「ヴェネツィア憲章」のような、多くの重要なキーワードを含むものは、どのキーワードを入れるのかよく考える必要がある。

学習法：このように少ない文字数で要約する場合、ポイントとなる語句（ヴェネツィア憲章であれば「真正性の概念」や「修復の際には建設当時の工法や素材を尊重すること」など）をはずさないようにしなければならない。学習の際には、**それぞれの語句の最重要ポイントがどこであるかを考えながら、キーワードを正しくつかむのが重要**である。

2

短評：指定語句を用いて重要なキーワードを説明する問題。ここでは事実に基づいて客観的に説明することが重要である。ここの説明で、根拠のない個人の意見を述べている人が今回は多かったように感じる。また関係のない無形文化遺産などの話題を入れている人もいた。今回は教育の重要性なども入れる必要があり、その点でも差があった。

学習法：書く前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。「世界遺産条約」を説明するのに必要なキーワードを書き出し、それを組み替えながら全体のプロットを考える。問題中の**使用指定語句は、どのような解答が求められているかのヒント**であるといえる。学習の段階では、重要語句のキーワードやポイントを抜き出しておくとうい。また「世界遺産条約」の意義や目的、採択の背景なども理解し、それを限られた文字数と指定語句の中に加えられるよう、自分なりのまとめなおしが必要である。そのためには、**文章ではなく語句で覚えて**おき、問題に合わせて語句を組み合わせるようにするのが重要である。
文字数指定のある場合は、最低でもその 8 割を書かないと減点の対象となる。

3

短評：景観保護の問題は、最善の意見や解決法を見つけるのが難しいものである。そのため、なぜ景観保護が重要なのか、そこにはどのような問題があるのか、景観保護と対立する価値観は何なのかなど、「景観保護」をさまざまな角度から考察することが求められる。その点で難しく感じた受験者が多かったと思われる。他の遺産の比較でも、ほとんどの人がドレスデンを取り上げていたが、ドレスデンでの景観保護の問題点について書いている人は少なく、シェーンブルン宮殿やリヴァプールについて取り上げている人の方が点数が高くなっていた。

学習法：1,200 字というかなり長い論述問題の場合は、書き始める前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。その時に、**序論・本論・結論のスタイル**にするのか、まず**結論を書いてから後で説明するスタイル**にするのか決め、それに沿うようにキーワードなどの箇条書きでプロットを作る。それに肉付けする形で、書き上げてゆく。このような論述問題の場合、「**正解**」というものはない。いかに自分の意見を論理的に述べられるかが高得点の鍵となる。当然、**自分の考えを述べる時には、思い込みではない正確な情報で根拠を示す**必要がある。
文字数指定があるので、最低でもその 8 割は必ず書くようにする。